

整理番号	44-10	事務事業名	(青少年成人教育振興事業) 青少年教育振興事業	作成部署	生涯学習部 社会教育課	電話	内線 889
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名 山内 平一郎	課長職名	可児 正樹	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	昭和52年	根拠法令等	社会教育法				
〃 終了予定年度							
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	新春書初め作品展については、新春に書道に親しむ機会を設け、書初めを通して日本の伝統的文化に触れながら、児童生徒の個性の伸長と豊かな情操を養う。創意発明工夫展については、科学技術への興味関心を高め、日常生活を豊かに使用とする心情を養うことによって、児童生徒の創意、創造性を啓発する。						

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化を育むまち	(第4章)
	節	社会教育	(第3節)
	施策	青少年の健全育成	(第6施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	児童生徒 5,461名(17年5月1日現在)	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	日本伝統の新春書初めを通して、児童生徒の個性の伸長と豊かな情操を養う。創意発明工夫展については、科学技術への興味関心を高め、児童生徒の創意・創造性を育成する。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	北広島市教育研究会(市内小中学校教員による研修・研究組織)と連携して次の事業を行っている。 横断幕等作成 展示会の開催及び表彰
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	203	316	321	321
	合計	203	316	321	321
人件費(概算)	人数(年間)	0.04	0.04	0.04	0.04
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	360	360	360	360
総事業費 +		563	676	681	681

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	児童生徒数(人)	5,670	5,601	5,461	5,450
	出展者数(人)	1,686	1,697	1,700	1,700
	書初め展の出展者数(人)	1,568	1,594	1,600	1,600
	創意発明工夫展の出展者数(人)	118	103	100	100
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	事業参加率 (出展者数/児童生徒数)				
	書初め展	28%	28%	29%	29%
	創意発明工夫展	2.1%	1.8%	1.8%	1.8%
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	出展者1人当たりコスト(円)	334	398	401	401
	(出展者数/総事業費)				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	石狩管内の各市町村で実施している事業であり、管内全体での展示及び表彰、さらに全道レベルへの発展形式を採っているため継続とする。しかしながら、他市町村の動向、状況変化に対応した修正を行っていく。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	小中学校の教育の一環として実施していることから、市としての関与は妥当である。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	全国的に長い歴史のある事業であり、伝統や青少年の創造性を豊かにするという観点からその方策の一つとしては妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	事業の性格から現行の内容が適切である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	事業の趣旨からなじまない。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	北広島市教育研究会との事業連携も定着してきているとともに、相当の出展もあることから概ね成果を上げている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	展示が主な事業であり、経費の節減は難しい。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法等を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	日本伝統の事業が少ない状況のなか、継続して実施していく。状況変化等があれば、北広島市教育研究会との連携により内容変更も検討する。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	創意発明工夫展については、児童生徒の創意・創造性を育成する希少な機会でもあるが、各小中学校で選抜されているとはいえ、成果指標では参加率が2%強と低率な状況である。事業の目的を果たすためにも、今後、出展数の増加策を検討すること。